

学校関係者評価委員会
平成 29 年度 第 2 回委員会 議事録

1. 日時および場所

日 時：平成 30 年 2 月 15 日（木）18：30～20：00

場 所：修成建設専門学校 会議室

2. 出席者（順不同、敬称略）

委員

大庭 健二、相賀 勝、藤田 晴樹、山崎 充、武井 彰

田中 文雄、苅野 起三子、丸山 徹

（計 8 名）

学校（オブザーバー）

山下 裕貴、堤下 隆司、谷川 博

増田 和浩、見邨 佳朗、中島 良明、野瀬 孝男、中安 哲男

（計 8 名）

（参加者合計 16 名）

3. 配布資料

資料 1-1：平成 29 年度第 2 回委員会 議事次第

資料 1-2：参加者出席名簿

資料 1-3：平成 29 年度第 1 回委員会 議事録（案）

資料 1-4：平成 29 年度意見交換会議事録

資料 1-5：平成 28 年度学校関係者評価委員会評価報告書（案）

資料 1-6：専門学校第三者評価 第三者評価報告書

4. 議事次第

(1) 開会挨拶（資料 1-1）（資料 1-2）

堤下校長の開会挨拶、藤田委員長の挨拶に続いて、山下理事長より挨拶および学校の近況について報告がなされた。

堤下校長から大庭委員の紹介がなされ、大庭委員の自己紹介が行われた。

(2) 議事内容説明（資料 1-1）

堤下校長から本日の議事内容について概要説明が行われた。

(3) 前回議事録の確認

1) 前回（平成 29 年度第 1 回委員会）議事録（案）確認（資料 1-3）

野瀬委員より前回開催された平成 29 年度第 1 回委員会（平成 29 年 10 月 12 日実施）

の議事録について説明があり、その内容について全会一致で承認された。

- 2) 保護者-卒業生対象意見交換会（平成 29 年度 第 1 回委員会）議事録確認（資料 1-4）
谷川委員より平成 29 年度第 1 回意見交換会（平成 29 年 12 月 2 日実施）の議事録について説明、卒業生との意見交換は有意義で今後に活かしたいと報告がなされた。

(4) 各学科平成 29 年度評価報告

①建築学科（昼・夜）、建築デュアルシステム科（夜）・・・増田委員

建築学科（昼）は企業連携を計り 1 年生の夏・春休でのインターンシップやオープンデスクを実施し、就職・大学編入等の進路決定支援を充実させた結果、夏春計 174 名が参加した。資格については、卒業後受験する建築士取得を目標とすると共に、在学中に受験できる福祉住環境コーディネーターや CAD 検定、積算士補等の取得支援を充実させ成果を得ることができた。

建築学科（夜）と建築デュアルシステム科（夜）は就業しながら学ぶ目標で組み立てているが、（昼）と比較し時間制限があるため夏休みや土曜日を活用し対応している。今年度は二級建築士を取得した学生もおり、集中力は（昼）よりも高いように感じている。

②建築 CG デザイン学科、空間デザイン学科、専科 2 級建築士科・・・見邨委員

建築 CG デザイン学科の学科目標「デジタルで表現する力を身につける」「アナログで考える基礎的な力を身につける」に沿い授業を展開。計画総論において多様なスペシャリストから各分野の面白さや難しさなどを学び進路指針とした。CG 動画ソフト + BIM に注力した。

空間デザイン学科においては「考えるちから」「つくるちから」「伝えるちから」を学科目標とし考え伝える力を養うため、日本商環境デザイン協会に入会しデザインのプロとの接点を増やすと共に、計画総論では多様なスペシャリストから各分野の面白さや難しさを学んだ。

専科 2 級建築士科の二級建築士合格率は 82.86% と全国の 24.28% を大きく上回った。次年度は 80 名を超える入学者を予定しており、人的・物的補強を行い今年以上の成果を目指す。

③住環境リノベーション学科・・・中島委員

学科の大きな目標は、2 級建築施工管理技士の学科試験全員合格。キャタピラ講習会（技能講習・特別教育）計 9 個の取得である。学科の特色は実習・実験・測量を柱に現場管理者を養成することである。その他に企業との連携による建設現場見学。1 年生の 9 月に合宿で行く富士研修センターでの 1 週間実技合宿など実践で行う内容を中心にカリキュラムを組んでいる。今年は 2 級建築施工管理技士の合格率が 50% だったので次年度は 100% に近づけるよう集中講義等で指導を充実させる。今年の学生の中には約 10 人程度は大工希望者がいるため、大工希望者を含めた学生に木工制作やベンチ作成などを行った。1 年生の大工希望者は約 15 名程度いるため、次年度からは夏休

みごろに大工希望者を対象に3級大工技能士の基礎講習等ができるような計画を立てている。

④土木工学科、建設エンジニア学科・・・野瀬委員

土木工学科、建設エンジニア学科の2学科で88%がインターンシップに参加。進路について土木工学科はほぼ全員が決定している。

本年度は測量士補資格取得対策として新任教員を迎え実施、合格者13名（合格率47.4%）、2級土木施工管理技術検定学科試験合格者31名（合格率60.3%）で全国合格率を上回った。その他、小型車両系建設機械・職長安全衛生責任者・技能講習等多数の学生が修了した。

1年生は後期ワークショップの授業において17社の企業の方を招いて実務者の講義を受講し、進路決定の参考にしている。

⑤ガーデンデザイン学科・・・中安委員

本年度も実習・演習・見学を教育活動の柱とし、企業、業界関係諸団体や地域との連携・交流・イベント参加等多数実施した。これにより学ぶ楽しさ意欲の向上に繋がったが、反省点もあり来年度に向けて改善が必要である。進路は全員が内定。資格は2年生全員受験必須の2級造園施工管理技術検定学科合格率は81%、3級造園技能検定試験は1・2年生が受験、合格者は31名（合格率91%）で全国平均合格率を上回った。授業では「できない」と勘違いさせない教育環境づくりや各教員が随所で実務経験談を語りながら学ぶ意味を理解させ「すべてを教えず」質問しやすい雰囲気づくりに取り組んだ。本年度は卒業設計も企業連携で実施、企業所有ビル屋上の庭園計画を課題設定、企業案内による現場視察から始まり計画完成後企業に対しプレゼンを行なった。

(5) 議案

1) 平成28年度学校関係者評価委員会評価報告書について（資料1-5）

平成28年度学校関係者評価委員会評価報告書について内容が承認され、委員会より修成建設専門学校に報告書が提出された。

2) 専門学校第三者評価 第三者報告書（資料1-6）

山下理事長より専門学校第三者評価 第三者評価報告書について説明・報告がなされた。

3) その他

堤下校長より「卒業展2018」「建設業界合同企業説明会2018」の開催について案内がなされた。

(6) 次回開催日時等の決定

日 時；平成30年10月中旬の予定

場 所；修成建設専門学校 会議室

内 容；平成29年度学校関係者評価報告について

以上

（記録・文責：中島良明、中安哲男）